

令和6年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン 〈4年生〉

	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での話し合いでは、発言する児童に限られがちである。 ・グループでの話し合いでは、全員発言する様子が見られるが、話す方は順序立てて分かりやすく伝える力、聞く方は相手が何を伝えたいのか意識をして最後まで聞く力が弱い。 ・記録しながら聞くことは、各自メモの工夫をして取り組んでいる。 ・物語文で、登場人物の心情を叙述から読み取ることができる。説明文で、段落相互の関係に着目して、書き手の考えがどのように説明されているかを捉えるところに課題が見られる。 ・文章を書く際、構成を考えて書いたり、分かりやすくするために具体例を入れて書いたりすることに課題が見られる。 ・新出漢字の定着に個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から発表の場を多く設定したり、机間指導後に意図的に指名したりする。 ・学校生活すべての「話す・聞く」場面を取り上げ、人の話は最後まで聞くこと、話すときは相手の様子を見て、分かりやすく話すことを指導する。 ・工夫の見られるメモを紹介するなどして、よさを知らせる。 ・物語文は、主題に迫る読み取りができるよう指導する。 ・段落相互の関係を明らかにする学習を取り入れる。また、要約に取り組むことで、文章の中心となる語や文を見付ける力を伸ばす。 ・文章を書く前に中心となることや組み立てなどを整理することや、書き上がった文章を読み直してよりよくするよう指導する。 ・漢字練習や漢字テストを実施し、間違い直しに取り組ませる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の名称や位置関係についての理解には、個人差がある。 ・調べ学習の際に、どの資料を見ればよいのか、何が読み取れるのか考える力に差がある。 ・東京都の地形の様子など、1つ1つの特徴や情報を理解することができていても、それらがどのように関わっているか、つながりに気づき、考えを深めていく力に課題がある。 ・水やごみの学習では、自分の生活との結びつきを感じながら、体験教室や社会科見学を通して内容を理解し、自分たちにできることを考えることができた。また、学習したことを生かして生活する児童の様子も見られた。 ・自らの経験などから根拠のある予想を立てることができない児童とできる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を開く回数を増やすとともに、ミニテストを行うなどして定着を図る。 ・資料の読み取り方を指導し、年間を通して継続的に指導していく。 ・一つの情報だけでなく、複数の情報から総合的に事象を考え、まとめられるようにする。また、自分の言葉で学習問題に対するまとめを書かせ、それらを全体で共有することで、様々な視点をつなぎ合わせて考えられるようにする。 ・グループ学習の時間を積極的に活用し、考えを深める。 ・今後も具体的な生活場面や児童の気づきを大切に、児童の興味・関心を高めるとともに、学習に結び付けることができるようにする。 ・予想を練り上げる時間をつくり、考えを共有しながら、児童全員が学習の見通しをもって調べられるようにする。

<p style="text-align: center;">算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算をすることができるが、速さを意識しすぎるあまり、正確さが欠けている様子がある。 ・なぜ間違えたのか、どんな問題ができていないのか等、自分の学習を振り返ることができていない。 ・全体的に知識、技能の定着が図れているが、なぜそのような考え方ができるか、過程を正しく理解していない児童がいる。 ・わり算の筆算については、かけ算の定着が不十分な児童が見られた。 ・得意な児童と不得意な児童の差が大きく、授業を進める早さの調節が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な立式と計算を意識させるとともに、見直しを徹底させる。 ・学期毎にドリルパークを使った個別学習を行い、自分の苦手な単元や問題に取り組む時間を設ける。 ・解決の見通しを話し合ってから自分の考えを書かせたり、ペアや小集団での対話活動を取り入れたりすることで、協働的な学習で理解を高める。 ・習熟度別のクラスによって取り組む問題を変えたり、基礎問題の反復練習を取り入れたりする。 ・ペア、少人数、全体など、互いに学び合う時間を適宜取り入れ、自分の考えを分かりやすく伝え合ったり、友達の考えの良さに気付いたりする場を設定していく。
<p style="text-align: center;">理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や身の回りの自然の事象に関心をもち、学習に取り組むことができる。また観察や実験にすすんで取り組む。 ・観察の際、対象を細かく見たり触ったりして、特徴を捉えてスケッチや文に的確に表すことに課題が見られる。 ・「課題」「予想」「実験」「結果」「考察」の流れで学習することが身に付いている。予想では、これまでの経験をもとに考えることができた。 ・結果から考えられることを考察として、適切な文に表すことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の前に、目的の確認や視点を全体で共有してから始める。また、適切なスケッチや文章のカードを取り上げ、全体で紹介してよさを共有する。 ・全体で結果を確認して、そこから考えられることをいくつか発表させるなどして、初めは全体で考察をまとめていき、考え方が身に付いてきたら、個人でまとめるようにしていく。また、考察をどのようにまとめてよいか困っている児童には、個別に指導する。
<p style="text-align: center;">音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽、鑑賞や音楽づくりの活動にすすんで取り組む姿が見られる。 ・リズムの模倣や、拍にのって手拍子をしたり体全体を使って表現したりする活動を楽しんでいる。 ・学習規律を守ることや粘り強く学習に取り組むことに関しては、 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに意欲的に活動に取り組むことができるように、様々な体験を学習計画に取り入れる。 ・学習の流れやめあてについて、板書や掲示物を使用して共有しながら視覚的にも示していけるようにする。 ・担任と連携して、児童の頑張りやできるようになったことを情報共

	<p>継続的に支援するための手立てが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、姿勢や音色に気を付けて演奏しようとしているが、基礎的な運指や息使い等の習得が課題である。 	<p>有する。肯定的な言葉掛けを増やすことで児童の意欲や自信を高める。場合によっては、個別指導の時間を設け、安心して学習に取り組めるようにする。</p>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・表しながら様々なことを感じ、考えを広げ、それを自分の表現に生かしながら意欲的に活動をしている。 ・友達と関わりながら活動することを好み、相互鑑賞も楽しんでいる。 ・学習規律を守ることや、安全に配慮して活動することに関しては、継続的に支援するための手立てが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試しながら表したり、次第に表したいことが明確になるような題材を多く取り入れたりすることで、発想を自由に広げていけるようにする。 ・自然に相互鑑賞ができるように設定し、いろいろな表し方やよさ、面白さが感じ取れるようにする。 ・教員間で児童の頑張りや成長、約束事などを情報共有し、連携しながら丁寧に繰り返し指導していく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ競技では意欲的に運動している反面、気持ちが前面に出てしまい、チームプレーやルール、マナーを守れていない様子も見られた。 ・体育的行事のダンス練習では、よりよいダンスにしようという意見を出し合う様子が見られるが、技能の高い児童が中心である。どの児童も主体的に取り組み、個々のレベルアップにつなげる声掛けが必要である。 ・熱中症対策の影響もあり、体力の向上が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ競技であっても、個人や少数で練習する時間を確保したり、技能の習得につながる予備運動を取り入れたりする。 ・運動のヒントとなる資料や教師の手本を見せ、課題の解決に活用させる。 ・楽しみながら体を動かしたり、運動量を確保できるような授業づくりを行ったりする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について素直に考え、自分の考えを表現することができる。 ・学んだ価値について、これまでの自分自身の生活に結び付けて考えているが、そこから今後の生活に結び付けることにまだ課題を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返りながら価値について考えるとともに、友達の考えを聞くことによって考えを深めていけるように授業を展開する。様々な意見を取り上げながら、価値に関してより多面的多角的に考えられるように助言する。 ・日常の学校生活で、学んだ道徳的価値について活用している場面を見かけた時には取り上げ、児童に価値付ける。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が何を探求していくべきか、自分の経験や考え、疑問などから課題を設定していく力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の時間と全体で話し合う時間を設定し、思考を整理したり、具体的に想像したりできるようにする。また、課題への取り組み方が

	<ul style="list-style-type: none"> ・探求的な学習の過程において、自分の課題に沿って、積極的に調べる姿が見られた。調べ学習が一段落した時、さらに深めようとする意識やその方法を考えることに課題が見られる。 ・ICTと図書資料の効果的な活用に課題がある。 ・他者に伝える活動は、意欲的に行うことができていた。聞いたことに対して興味をもち、感想を伝えることができたが、他者と協働して課題を解決しようとする活動の経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 分らない時には、課題をさらに細分化して取り組みやすくする。 ・調べて理解したことから新しい疑問を見つける習慣を様々な教科の学習を通して身に付けていく。振り返りの時間を確保し、その内容について話し合う時間を設定する。 ・複数の情報を集める必要性を知らせるとともに、インターネットだけでなく図書資料も併せて効果的で正しい使い方を指導していく。 ・総合的な学習の時間に限らず協働学習を取り入れ、自分の考えを表現したり、新しいものを作り上げたりする経験を重ねる。また、他者の考えを認める学習環境づくりを日々行っていく。
<p style="text-align: center;">外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのやり取りやALTが提案するゲームを楽しみながら、意欲的に活動している。 ・英語の歌など、全体で声を出す活動では、回数を重ね慣れてくるにつれ、積極的に参加する姿が見られる。 ・問いに対して英語で答えることに自信がなく、発言が消極的になる児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語だけでなく、様々な言語に興味や関心がもてるよう、ALTとの触れ合いから外国への興味や関心につなげていく。 ・ペアやグループなど学習形態の工夫や改善を図ったり、自分たちの考えを伝え合うための手立てを知らせたりして、リラックスして楽しく授業に参加できるようにさせる。